



手代木中だより

光輝学園



Chance Challenge Creative

つくば市立手代木中学校

令和7年4月11日 No.1

令和7年度をスタートするにあたって

光輝学園つくば市立手代木中学校長 四位 悟

寒さの厳しかった冬がようやく終わり、春本番となりました。今年は校庭の桜も比較的長く楽しむことができました。昨年度、一昨年度に引き続き、校長として、ここ手代木中で3年目を迎えることに喜びに感じると共に身の引き締まる思いであります。今年度もよろしくお願いいたします。

さて、4月8日に始業式、9日には啓志式を挙行いたしました。今年度は553人の生徒、53人の教職員の総勢606人で令和7年度がスタートしました。

生徒の多様な学びに対応し、学校の形も多様化してまいりました。そんな中でも、私は学校とは「社会に出ていくための土台作りをする場所である」と考えております。そしてその土台とは…？それは「人を思いやる心」だと考えています。感謝の気持ち、尊重する姿勢、やさしさや愛情など「人を思いやる心」は誰もが根底にもってほしいものです。そんな「**思いやる心をもった生徒と先生が集まる学校**」にしていくことが私の第一義であり目指す学校像です。

この目指す学校像の中で育てていきたい生徒像は

- 思いやりがあって、やさしさに溢れる生徒
- 自分の考えをもち、判断し行動できる生徒
- 社会の一員としての自覚をもち、社会に貢献できる生徒

そんな生徒を育成するために具体的に取り組んでいきたいことは3つです。

あいさつの励行

自己決定の場の設定

奉仕的な活動の重視

以上の目指す学校像、生徒像を全教職員が理解し、その達成のために一枚岩になって取り組んで参ります。保護者の皆様にもご理解いただき、共に目指していきたくと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



令和7年度がスタート

4月8日(火)いよいよ新年度がスタートしました。この日が今年度初登校となった8、9年生は新クラスを確認した後、始業式に臨みました。学校長式辞の中で「思いやりという心の土台」と築いていこうという話があり、各学年の代表生徒が今年度の決意を述べました



啓志式が挙行されました

4月9日(水)に啓志式がおこなわれました。新たなスタートラインに立った175名の進級生は、新しい制服に身を包み堂々と入場しました。式の中の呼名にも「はい」という大きな返事が響き、今後の中学校生活に向け期待を膨らませていました。

